

第478回 4月22日開催
出席委員（50音順・敬称略）

| | |
|-------|-------|
| 荒巻 裕 | 大村 英昭 |
| 倉光 弘己 | 黒田 勇 |
| 櫻井 美幸 | 森 輝彦 |

テレビ・スポーツ番組
「2003 ソウル国際女子駅伝」
03年4月6日（日）午後1時～3時30分 放送

***荒巻委員**

レースがスタートした途端大差がつき始めたため、大味な番組になってしまったのは残念だ。スポーツは、結果がどうなるか分からないからこそ、いろいろなケースを想定した番組作りが必要ではないか。特に今回のような場合は、日本悲願の初優勝に向けての個々の選手や選手を支える周囲の人々のいろいろなドラマの紹介がもっとあれば、視聴者を最後までつなぎとめておけたのではないか。

***倉光委員**

日本選手への期待が大きいとテレビの前に大勢の人が座るが、期待がはずれると席を立つ人がどっと増えるものである。今年のレースは、特に後半は白けムードで解説も何か空疎な感じがした。やはり事前に、いくつかの想定される筋書きに合わせた準備をしておかないといけないと思う。それと、翌日の新聞を見て驚いたのは、このソウル国際女子駅伝についての扱いが極端に小さかったことで、これも少し問題だなと思った。

***黒田委員**

非常に淡々とした実況アナウンスに好感を持った。ただスポーツ番組としては、ワールドカップの放送のような、インターナショナルな観点からの作り方があったのではないか。去年まで8連覇を成し遂げているロシアの選手のすごさ、魅力といったものをもっと探ってほしかった。関西の放送局として、こうした海外イベントを持っていることは重要であり、今後韓国のKBSとの連携をさらに強め、メディアイベントの資源として大切に育てて行ってほしい。

***櫻井委員**

駅伝の醍醐味は、選手をどう配置してどう駆け引きをするかという所にあると思う。特に今回のように、日本悲願の初優勝が達成されるかどうかを最大の見所としたのな

ら、強敵のロシアに勝つためにどのような作戦を立てたのか詳しく知りたかった。また、このソウル国際女子駅伝そのものの興味を高める意味で、レースの国際的な位置づけや、歴史、各国の選手のレベルなどの情報もできるかぎり入れてほしかった。

***大村副委員長**

レースがもっと手に汗握るような展開になれば、放送上の欠点もあまり見えてこないと思うが、今回は正直同情したい気持である。ただこのレースに限らず、女子駅伝や女子マラソンといったいわゆる女性の長距離レースの魅力は一体何なのか、私自身も若干分からない部分がある。制作する側も、ジェンダー（性差）に関係なく、この国際女子駅伝で視聴者に何を訴えようとしているのかももっと知りたいと思った。

***森委員長**

勝負は水物とは言え、あれだけロシアに独走を許し、見る者の興味を失わせてしまったのは、日本選手の選抜の仕方に大きな問題があったのではないか。その辺は、中継する側の毎日放送としても意見を言うべきではないかと思う。それとカメラアングルも、普段見ているマラソンや駅伝の中継に比べやや違和感を持った。韓国のKBSの映像がベースになっているということだが、KBSとも連携した上でMBSとしての独自の色合いも出していくことが課題だと思う。